

北っ子 敷島北小学校だより

令和6年7月22日 文責 学校長 増坪広夫

夏休みには様々な体験を

令和6年度となり4ヶ月があっという間に過ぎていった1学期でしたが、お陰様で本日終業式を迎えることができました。保護者の皆様や地域の皆様の温かい見守りと御支援のおかげで敷島北小の子供たちが元気に充実した日々を過ごすことができました。心より感謝いたします。



1学期は教室での学習に加え、児童会主催の1年生を迎える会や児童総会、そして修学旅行や林間学校などの校外活動なども実施してきました。子供たちはそれぞれに貴重な体験をし、新しい知識や技能を獲得し、人間関係を築き大きく成長することができました。ご家庭での協力を重ねて感謝申し上げます。



さて、子供たちが楽しみにしている夏休みが始まります。子供たちの心は、これから始まる夏休みへの期待感でいっぱいのことでしょう。日頃できない体験をしたり、地域の行事に参加したり等々、たくさんの方が考えられます。7月23日から8月29日までの38日間が、楽しく充実した思い出に残る夏休みであってほしいと願っています。

交通事故や水の事故に気を付けることや 規則正しい生活を心がけることなど、夏休みの生活については学校でも指導しましたが、子供たちにとって有意義な夏休みになりますよう重ねて御支援をお願いいたします。

失敗しなかった日は、何も挑戦しなかった日

「つまづいたって いいじゃないか にんげんだもの」これは有名な相田みつをさんの詩の一つです。



本日、あゆみが手渡されたと思いますが、ふりかえてみると「うまくできたこと」もあれば「うまくできなかったこと」もあったかと思えます。しかし「できなかったこと」「つまづくこと」「失敗すること」は誰にでもあることで決して悪いことではなく、そこに新しい気づきや学びがあれば、それは失敗ではないと思っています。

夏休みは普段できないことに取り組むチャンスなので、時間をかけなければできないことに挑戦してほしいと思っています。

パリでオリンピック・パラリンピック

今年の夏は、フランスのパリで、オリンピック・パラリンピックが開かれます。パリでオリンピックが開かれるのは、3度目だそうで100年ぶりの開催になります。今回のパリオリンピックは競技が32種目あるそうで、前回の東京オリンピックにはあった「野球」「ソフトボール」「空手」はなくなってしまったそうです。その代わりに新しい種目「ブレイキン」というダンスバトル形式で行われる競技などが加わりました。ちょうど夏休み中ということもあり、テレビ観戦をする家庭も多いと思いますが、せっかくですからネットを活用して様々な情報に触れながら、間接的な国際交流の時間にしてみてはどうでしょうか。



な な な な なにごと 為せば成る 為さねば成らぬ 何事も

きっとどこかで耳にしたことがある言葉ではないでしょうか。先人の言葉には何ともいえない重みを感じます。じつはこの歌には続きがあります。

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」

「何事もやればできるが、やらなければできない。できないのは、その人がやろうとしないからだ」
という意味になります。

夏休みは自由に使える時間が増えるので、なにか新しいことにも挑戦してほしいものです。



ただ夏休みは学校の課題として様々な提出物もあります。よく始業式の前日に徹夜で取り組んだという話も少なくないようです。そんな時には「為せば成る（やればできる）」と自分に言い聞かせてがんばったに違いありません。歌の下の句にもあるように、夏休みの提出物に限らず、何事も「やろうとする気持ち」をもたないかぎり「できないまま」で前には進みません。嫌なことから逃げず「やろうとする」気持ちをもって何事にも取り組んでほしいと思っています。

CERO(セロ)って知っていますか？

「CERO」(セロ)とはゲームソフトの内容による対象年齢の表示です。例えば、小学生の間で流行している「フォートナイト」というゲームは「CERO」Cなので15歳以上を対象とする内容が含まれているそうです。つまり小学生がゲームをする場合は保護者による見守りが必ず必要となります。各ご家庭でゲームをするときはいかがでしょうか。忙しいからつい子供だけということにはなっていないでしょうか。

特に夏休みは子供だけで生活する機会も多く、ネット上でのトラブルに巻き込まれる心配があります。実際、対象年齢が外れたゲームをしたことで様々な問題が生じているそうです。

学校でも指導していますが、子供が加害者にも被害者にもならないためには、保護者がきちんとゲームの対象年齢確認や使い方(インターネットでの交流の仕方)をご指導ください。

またWHO(世界保健機構)が日常生活に支障をきたしてもゲームが止められないような症例を国際疾病として2018年に認定しました。次のことが当てはまる場合は十分気をつける必要があります。

- ネットに夢中になっていると感じる
- 予定よりも長く使用してしまう
- 使用しないとイライラしたり落ち着かない
- ネットのせいで人間関係を悪くしたことがある
- やり過ぎをかくすために家族にうそをついたことがある

SNSをする時の判断のものさし

インターネットを使うときに多くの個人情報に関わるトラブルが発生しています。SNS上に出していい情報は自宅の玄関に張り出してもよい情報というのが判断のものさしになります。子供たちが正しい使い方ができるよう保護者の皆様も確認してください。もちろん、学年によってはまだSNSは使わせないという選択肢もあります。今のゲーム機は簡単にインターネット回線で見ず知らずの人とつながってしまいますので、そのことも踏まえて使用状況の管理にご協力ください。

CERO A 全年齢対象
年齢区分の対象となる表現・内容は含まれておらず、全年齢対象であることを表示しています。

CERO B 12歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO C 15歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO D 17歳以上を対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。

CERO Z 18歳以上のみを対象とする表現内容が含まれていることを表示しています。
(18歳未満者に対して販売したり頒布したりしないことを前提とする区分)